

溝口県議会議長、高野副議長 県産アサリ「熊本モデル」現地視察 (8/10)

アサリ産地偽装一掃のため県を主導に4月から取組んでいる「熊本モデル」の現状を溝口県議会議長・高野副議長が緑川河口域のアサリ漁場を視察されました。

船上で、藤森会長による天然アサリ漁場の説明、特に第3種区画漁場（養殖アサリ）周辺における漁業者による徹底した漁場管理を行っているなど説明がなされました。

両県議は、漁業者によるアサリ漁の大変さと、日々の漁場管理でアサリ資源が保たれていることにつき、今回の熊本モデルが順調に運んでいることに納得された様子で、今後の水産業発展にご尽力頂くことを約束され、有意義な漁場視察となりました。このあと、認定工場・販売協力店の視察が行われました。

